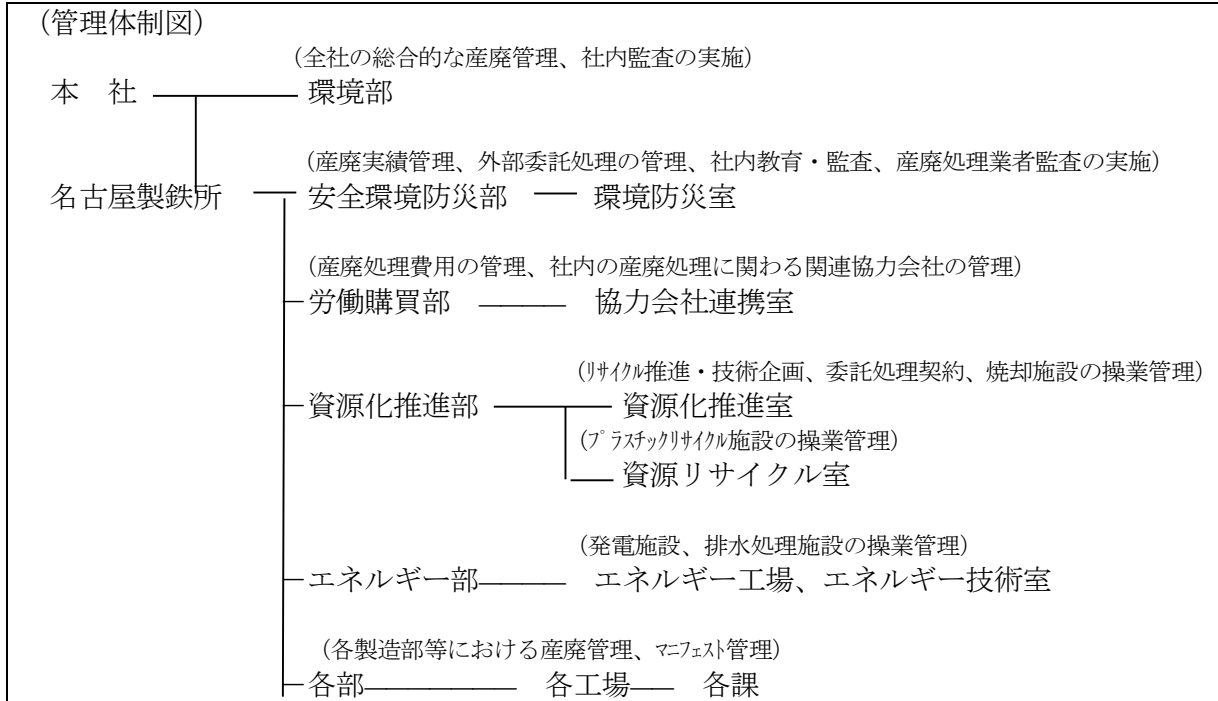


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 4年 月 日	
愛知県知事 殿	
住所 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 名称 日本製鉄株式会社 代表者 代表取締役社長 橋本 英二	
電話番号 052-603-7035	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所
事業場の所在地	愛知県東海市東海町五丁目3番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	22 鉄鋼業
② 事業の規模	売上高 4,365,970 百万円 (令和3年度、全社)
③ 従業員数	3,503 人 (令和4年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>主な発生物の処理工程</p> <p>(鉍さい) 高炉→【社内利用】建設工事資材、【委託】セメント製造ラインによる焼成 製鋼→【社内利用】建設工事資材</p> <p>(ばいじん) 高炉・焼結・コークス・転炉工程の集塵ガス→【自己再生】製鉄原料 発電ボイラー(※)→【委託】セメント製造ラインによる焼成</p> <p>(燃え殻) 発電ボイラー(※)→【委託】セメント製造ラインによる焼成 <b>(※) 2022年4月、共同火力発電のボイラーが当社へ移管</b></p> <p>(汚泥) 圧延等各ライン→排水処理施設→【自己再生】製鉄原料 各ライン(清掃汚泥)→【委託】セメント製造ラインによる焼成・混練造粒・最終処分 【社内最終処分】</p> <p>(がれき類) 構内工事現場→【委託】セメント製造ラインによる焼成、【社内最終処分】</p> <p>(廃油) 製鉄所各ライン→【社内中間処理】焼却→【残さ社内利用】製鉄原料 製鉄所各ライン→【委託】再生化・燃料化・焼却</p> <p>(廃酸) メッキライン→【委託】中和、焼却</p> <p>(廃アルカリ) 脱脂・焼鈍・メッキライン→【委託】焼却</p> <p>(ガラス陶磁器類) 製鉄所各ライン→【社内最終処分】、【委託】最終処分</p> <p>(水銀使用製品) 製鉄所各ライン・事務所等→【委託】破碎</p> <p>(金属屑) 製鉄所各ライン→【社内利用】製鉄原料、【社内最終処分】</p> <p>(廃プラ) 製鉄所各ライン→【委託】焼却 製鉄所各ライン→【委託】破碎→最終処分</p> <p>(管理型混合廃棄物) 製鉄所各ライン→【委託】焼却</p> <p>(木くず) 製鉄所各ライン→【委託】焼却</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	他別紙のとおり
	排出量	30,125 トン	
	(これまでに実施した取組) ・各工程における潤滑油等の原単位向上、寿命延長等		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	他別紙のとおり
	排出量	29,480 トン	
	(今後実施する予定の取組) ・同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃プラスチック、金属屑</li><li>各ラインから発生する大型部品(粗大ゴミ)を破碎・分別。</li><li>金属屑及びびばいじんは製鉄原料として再利用。</li></ul>
②計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記対応の徹底。</li><li>・汚泥類は分別強化により、製鉄原料への再利用もしくは再生利用業者におけるリサイクル化を進め、最終処分量を低減</li><li>・廃プラ類は有償物としての取扱いが困難となるため、分別を更に厳格運用</li></ul>

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	他別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	555,427 トン	
	(これまでに実施した取組) ・製鉄原料としての再利用		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	他別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500,000 トン	
	(今後実施する予定の取組) ・有償物としての外販先の更なる開拓		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	他別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 トン	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,123 トン	
(これまでに実施した取組) ・汚泥の水管理による減量化			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	他別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 トン	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4,080 トン	
(今後実施する予定の取組) ・原料資材としての拡販・再利用			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	他別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	167 トン	
	(これまでに実施した取組) ・ 分別による埋立処分のミニマム化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	他別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	150 トン	
	(今後実施する予定の取組) ・ ロール研削屑の再資源化		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		単位；トン			
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量		別紙の通り			
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量					
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組) ・ 鉋さい；外販による委託処理量の低減 ・ ばいじん；社内利用拡大（製鉄原料）による委託処理減量化 ・ 汚泥、がれき、廃プラ；分別による社内利用拡大による委託処理減量化					

②計画	【目標】 単位 ; ト							
	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量		別紙の通り					
	優良認定処理業者への 処理委託量							
	再生利用業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							
(今後実施する予定の取組) ・ばいじん ; 社内利用拡大による委託処理減量化 ・汚泥、がれき、廃プラ ; 分別による社内利用拡大による委託処理減量化								
※事務処理 欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙(令和3年度実績及び令和4年度計画)

産業廃棄物の種類		鉍さい (高炉スラグ)	鉍さい (製鋼スラグ)	鉍さい (その他)	ばいじん	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻	汚泥	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス陶磁 器屑
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	現状(R3年度実績)	58,684	338,177	35,750	555,427	36,841	2,755	14,269	15,011	30,125	334	272	20.4
	計画(R4年度計画)	50,000	310,000	32,500	500,000	72,000	5,000	14,000	17,010	29,480	300	260	20
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状(R3年度実績)	39,414	338,177	0	555,427	0	0	2,748	0	277	0	0	0
	計画(R4年度計画)	30,000	310,000	0	500,000	0	0	2,720	0	300	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の熱回収に関する事項	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理による減量に関する事項	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	0	4,123	0	4,245	0	0	0
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	0	4,080	0	4,700	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	0	563	3.9	0	0	0	20.4
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	0	600	10	0	0	0	20
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
全処理委託量	現状(R3年度実績)	19,270	0	35,750	0	36,841	2,755	6,835	15,008	19,929	334	272	0
	計画(R4年度計画)	15,000	0	32,500	0	72,000	5,000	6,600	17,000	18,980	300	260	0
優良認定処理業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	1,530	0	0	0	15,530	1,787	6,423	15,008	2,669	334	272	0
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	30,000	3,500	6,200	17,000	2,480	300	260	0
再生利用業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	19,270	0	35,750	0	36,841	2,755	5,089	9,198	18,128	0	0	0
	計画(R4年度計画)	15,000	0	32,500	0	72,000	5,000	4,950	9,000	17,300	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	0	336	0	1,718	307	163	0
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	0	300	0	1,600	280	150	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	19,270	0	0	0	20,529	2,755	306	9,198	84	27	0	0
	計画(R4年度計画)	15,000	0	0	0	40,000	5,000	300	9,000	80	20	0	0

産業廃棄物の種類		金属屑	廃プラスチック	水銀使用製品	管理型混合廃棄物	木くず	合計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	現状(R3年度実績)	412,707	1,160	3.2	207	171	1,501,914
	計画(R4年度計画)	400,150	900	3.5	170	150	1,431,944
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	現状(R3年度実績)	412,540	0	0	0	0	1,348,583
	計画(R4年度計画)	400,000	0	0	0	0	1,243,020
自ら行う産業廃棄物の熱回収に関する事項	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	0
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理による減量に関する事項	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	8,368
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	8,780
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	現状(R3年度実績)	167	0	0	0	0	754
	計画(R4年度計画)	150	0	0	0	0	780
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
全処理委託量	現状(R3年度実績)	0	1,160	3.2	207	171	138,535
	計画(R4年度計画)	0	900	3.5	170	150	168,864
優良認定処理業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	0	405	3.2	43	0	44,004
	計画(R4年度計画)	0	100	4	10	0	59,854
再生利用業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	0	0	3.1	43	0	127,077
	計画(R4年度計画)	0	0	3.5	10	0	155,750
認定熱回収業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	2,524
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	2,330
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状(R3年度実績)	0	0	0	0	0	52,169
	計画(R4年度計画)	0	0	0	0	0	69,400